

<事例番号3 1>交流活動で得た地域活力による環境美化の取組

☆徳島県美波町伊座利：伊座利の未来を考える推進協議会

【団体の概要】

- 当地区の過疎・少子・高齢化に拍車がかかり、小中学校の統廃合が集落の存亡に関わるという危機感から、児童・生徒や保護者に転入を呼びかける「おいでよ海の学校へ」という交流イベントを住民手づくりで開催。
- この活動を通じて、地域内の産業や観光、住宅問題などの課題を地域全体で考え、総合的な地域づくりを行う必要を感じ、町内会、漁協、学校、婦人会などの地域内のあらゆる団体を融合し、全住民で構成する地域づくり活動団体として、平成12年4月に結成した。
- 平成18年度農林水産省「立ち上がる農山漁村」事例に選定されている。

【活動内容】

- 自然の恵みにより成り立ってきた伊座利の環境を守っていくため、定期的な海岸や河川・道路などのクリーンアップや植樹活動を行っている。
- ほかにも「ゴミ・タバコなどのポイ捨てはやめよう」規定を独自に設け、違反すると公衆トイレの清掃という罰則を設けるなど、アイデアを活かした美化活動が展開されている。
- 地域の持続を図るためには、外部からの協力や知恵などの反映が不可欠と考え、多彩な交流活動を展開し、現在、関西、関東、徳島市内などを中心に600名以上が参画する「伊座利の未来を考える応援団」を有している。



他出後継者等が地域づくり活動に参加する仕組みをつくる

<事例番号3 2>地域出身者の地域活動への参加

☆下関市菊川町豊東：貴和の里につどう会

【団体の概要】

- 豊東小学校轡井分校が廃校となり、地域コミュニティの活力低下の危惧を抱いた轡井分校に通学した地区の住民有志により平成19年6月に設立。
- 「貴和」は、明治初頭にこの地に設置された貴和小学校にちなんで命名された。
- 「まちからも応援を得て活気と笑いのよみがえる竹源郷づくり」をキャッチフレーズに、繁茂している孟宗竹の利用、耕作放棄地の有効活用、まちとの交流・農業体験、空民家・廃校を活用した田舎暮らし体験等に取り組んでいる。

【活動内容】

- 帰省中の地域出身者に対して、Uターンの可能性や地域に求めること等についてアンケート調査を実施。
- 地域の子どもや他出者を対象に地域の歴史等について学ぶ講演会「地域塾」を開催し、帰省する機会の増加を図っている。
- 地域住民の意識醸成や都市農村交流の促進などによる地域の活力を創生していく中で、地域リーダーや活動要員の確保を目指すとともに、空き家等を活用したUJ Iターンの受け皿づくりにも取り組んでいる。

